

切っ子

学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成



文責 菊池 典男

◇ 入学おめでとう！！4名の仲間が入学しました！

4月8日（金）に1年生4名が入学し、全児童49名がそろいました。今年度も昨年同様、参加者を減らした限定的な入学式ではありましたが、担任の徳永利恵先生からの呼名に元気よく返事をする姿が見られ、ほほえましい入学式でした。

入学式では、全校で取り組んでいる3つのことについて話しました。

一つ目は「明るく元気にあいさつ」できることです。あいさつは人間関係を築いていく上で、もっとも大切な習慣の一つです。本校では、子ども同士の良好な人間関係を築けるように、学級のみならず縦割り班活動やソーシャルスキル・トレーニング等、年間を通して実施する予定です。5月は「上手なあいさつ」について学びます。学んだことを日常生活に生かして、上手にあいさつができるようになってほしいと思います。

二つ目は、「学習や生活の準備」ができることです。本校では「3つのそろえる（名札、といだ鉛筆5本、宿題）」の取組を全校で行っています。名札は今年から子どもたちを不審者等から守るために学校に置いておくようになりました。が、「といだ鉛筆5本と宿題、学用品など」は自分で準備できるようになってほしいと思います。ご家庭でも声かけや確認等をよろしくお願いします。

三つ目は、「気づき、考え、実行すること」ができるようになることです。例えば、友達に嫌なことを言ったりしている人に気づいたら、どうすればよいかを考えて、実行できるようになってほしいと思います。子どもたち自身が学校生活での課題に気づき、解決するための方法を考え、実行できる力を育みたいと考えています。昨年度は、子どもたちからの発案で、「思いやりの木の掲示、全校遊び、校区内清掃活動」を行っています。今年度も、子どもたち自身が課題に気づき、考え、実行してほしいと思います。

◆ 今年度の重点目標と重点取組です！

今年度も昨年同様、①自己決定の場を与える。②自己存在感（自分がかげがえのない存在であることを感じる）を感じ取らせる。③共感的な人間関係（相互に人として尊重し合う態度で、理解し合う人間関係のこと）を築く。を学校経営の基盤としています。その上で、全ての子どもに出番と役割を与え、友達や地域の方たちとの関わりを通して達成できたことを、先生や友達、ご家族から承認されたり称賛されたりする経験を積み重ねながら、学校教育目標である「自ら 気づき 考え 実行する 子どもの育成」を図っていきたいと思います。

保護者の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いします。

裏面に、「今年度の重点目標と重点取組」を載せておりますので、ご覧ください。



◆ 今年度の重点目標と重点取組

笑顔はじける学校を目指して

－ 自己肯定感・他者肯定感の高揚 ～「出番、役割、関わり、承認」を通して～ －

◆ 学校教育目標 ◆

「自ら 気づき 考え 実行する」子どもの育成

自ら学ぶ子

思いやりのある子

健康でたくましい子

自己指導能力の育成

- ◇ 自己決定の場を与える
⇒ 課題等について、自分で考え、判断し、実行させる
- ◇ 自己存在感を感じとらせる
⇒ 一人一人が活躍できる場や役割を設け、称賛する
- ◇ 共感的な人間関係
⇒ 仲間と考える機会をつくり、相互理解を促す

◆ 本年度の5つの重点目標と重点取組 ◆

★ 伸ばすべき資質や能力

1. 学力向上
2. 社会性の伸長と思いやりの心の醸成
3. 志の高揚と郷土愛の育成

(1) 自ら学ぶ子どもの育成（自立した学習者の育成）

- ◇ 三つのそろえる
- ◇ 授業と家庭学習の往還
- ◇ アクションプランに基づいた授業展開
- ◇ 切木小メソッドの共通理解と共通実践

(2) 「思いやり」の心をもつ子どもの育成

- ◇ 「温かな心・言葉・行動」の実践
- ◇ 道徳教育と人権・同和教育の充実
- ◇ 自己肯定感と他者肯定感の伸長

(3) たくましい心と体をもつ子どもの育成

- ◇ 徒歩通学・外遊びの奨励
- ◇ スポーツチャレンジの充実
(1 学期：相撲、2 学期：持久走、3 学期：なわとび)

(4) 進んで読書をする子どもの育成

- ◇ 図書的时间確保と必読書の奨励
- ◇ 各学年の貸出冊数を意識した読書指導
1・2 年：120 冊、3・4 年：100 冊、5・6 年：80 冊

(5) 小中連携による社会性を身に付けた子どもの育成

- ◇ ソーシャルスキル・トレーニングや G エンカウンターの継続実施
- ◇ マナー検定（卒業検定、修了検定）の実施
- ◇ 地域から学び、志を高める教育活動の充実

